

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 次の表は、平成 21 年 3 月告示の高等学校学習指導要領 芸術 美術 I の内容の構成をまとめたものです。これに関して、下の 1～3 に答えなさい。

美術 I の内容の構成		
領域	項目	事項
A 表現	(1) 絵画・彫刻	ア 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。 イ 表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法を工夫し、主題を追求して表現すること。
	(2) デザイン	ア 目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成すること。 イ 表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現すること。
	(3) 映像メディア表現	ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。 イ 色光、視点、( a ) などの映像表現の視覚的要素を工夫して表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法や編集を工夫して表現すること。
B 鑑賞		ア 美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めること。 イ 映像メディア表現の特質や表現の効果などを感じ取り、理解すること。 ウ 自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする ( b ) について考え、理解を深めること。 エ 日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めること。

- 表中の ( a )・( b ) にあてはまる言葉を、それぞれ書きなさい。
  - 平成 21 年 3 月告示の高等学校学習指導要領 芸術 美術 I 3 内容の取扱い (1) には、内容の「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導に当たっては、中学校美術科との関連を十分に考慮し、「A 表現」及び「B 鑑賞」相互の関連を図ることが示されています。このことを踏まえ、指導計画を作成する場合、留意すべきことは、何ですか。簡潔に書きなさい。
  - 指導計画を作成する際、内容の「A 表現」について、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習と、目的や機能などを考えた表現の学習が調和的に行えるようにするためには、どのようなことに留意する必要がありますか。「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の言葉を用いて簡潔に書きなさい。
- 2 「美術 I」において、教科書に載っている東洲斎写楽の「大谷鬼次の奴江戸兵衛」、レンブラントの「自画像」、ゴッホの「包帯をした自画像」の 3 つの作品を生徒に提示し、浮世絵と西洋の絵画を比較鑑賞する授業を、ワークシートを用いて行うこととします。これに関して、次の 1～3 に答えなさい。
- 東洲斎写楽の「大谷鬼次の奴江戸兵衛」について、生徒に「この作品は、浮世絵といい、江戸時代に発達した絵である。」と説明したところ、生徒から、「『浮世絵』は人物画だけなのか。」という質問を受けました。あなたは、この質問に対してどのように説明しますか。書きなさい。
  - この題材の目標を達成するためには、どのようなことに留意してワークシートの設問を設定することが大切ですか。簡潔に 2 つ書きなさい。
  - 鑑賞が授業としての学習だけでなく、生徒が日頃から鑑賞に親しむことができるように、鑑賞の環境づくりに取り組むこととします。鑑賞に対する生徒の興味、関心を高めるようにするためには、どのような取組が考えられますか。簡潔に 2 つ書きなさい。

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 「美術Ⅱ」において、彫刻で表現する学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 「躍動感」をテーマに主題を設定させ、材料を用いて人物像を表すことをねらいとする授業を行うこととします。次の(1)・(2)に答えなさい。
- (1) 生徒Aは、主題を生み出す段階でつまづくことが多い生徒です。「何をつくりたいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」という生徒Aの作品の表現意図を引き出すために、あなたは、どのような指導を行いますか。簡潔に書きなさい。
- (2) 生徒Bは、躍動感を表現するために「動きの一瞬を表す」という主題を設定して人物像の制作に取り組んでいましたが、自分の表現意図に合う新たな表現方法が思いつかず、制作が進まなくなってしまいました。生徒Bが試行錯誤し「動きの一瞬」を創造的に表現できるようにするためには、どのような言葉をかけますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 制作途中の土粘土の作品を、可塑性を保つように保管するためには、どのようなことに留意する必要がありますか。簡潔に書きなさい。
- 4 「美術Ⅲ」において、使われる場面や目的に応じた椅子をデザインすることをねらいとして模型を制作する学習を行うこととします。この題材を学習活動のまとめりごとに第1次から第4次までの全9時間で指導する場合、どのような学習活動及び指導上の留意事項を設定しますか。学習活動のまとめりごとに、第1次から第4次までそれぞれ簡潔に書きなさい。
- 5 「美術Ⅰ」において、水彩絵の具を使って身近な人を描く学習をすることとします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 身近な人をスケッチする際に、対象を正確に捉えて描かせるようにするためには、どのようなことに留意させる必要がありますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 身近な人の雰囲気を感じ取らせたり、特徴を見つけさせたりするためには、どのような指導を行いますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 6 「美術Ⅲ」において、「私の学校自慢」をテーマとしてアニメーションによるビデオ映像をつくる学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 次のa・bは、映像メディア表現に関する用語です。それぞれ簡潔に説明しなさい。
- a トランジション      b パンニング (パン)
- 2 少しずつ粘土の人形を動かしていくストップモーションアニメの手法を用いた30秒程度のビデオ映像を制作する手順について、生徒に分かりやすく説明するための配付資料を作成することとします。アニメーションをつくる手順を資料にどのように示しますか。制作手順は4工程とし、簡単な図と文を用いてそれぞれかきなさい。
- 7 1枚のティッシュを指で掴んでいる手を想像し、鉛筆で陰影をつけて、立体感や質感が現れるようにデッサンしなさい。

28

高等学校 芸術科（美術） 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1	( a )	
		( b )	
	2		
	3		
2	1		
	2		
	3		

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1	(1)	
		(2)	
	2		
4	次	学習活動	指導上の留意事項
5	1		
	2		

※ 必要に応じて線を引いてもよい。

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
6	1	a		
		b		
	2	手順1	(図)	(文)
		手順2	(図)	(文)
		手順3	(図)	(文)
		手順4	(図)	(文)

28

高等学校 芸術科（美術） 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
7	